

スーパークールビズもどき吹く風！

政府は、温暖化対策に加え東日本大震災などによりこの夏予想される電力不足に備えクールビズを 5 月から実施、さらに 13 日松本龍環境大臣は、閣議後記者会見で、ノーネクタイ、半袖で過ごす従来のクールビズよりも踏み込んだスーパークールビズの普及と啓発を 6 月 1 日から強化すると発表しました。

まず環境省職員から従来のクールビズを強化したより一層軽装のノーネクタイ、上着無し、ポロシャツ、アロハシャツ、ジーンズ、スニーカー、サンダル等での業務を行うとしています。

また、広く民間企業にも普及と啓発を求めている、既に多くの企業が環境大臣に対して「エコファースト 2011 年夏の節電の約束」を宣言しています。

こうして政府・環境省からスーパークールビズを啓発されている中、J R 東海のこの夏(6 月～)乗務員職場における実態はどうなっているのでしょうか？

すでに 6 月の衣替えの間際になっても全くスーパークールビズどころか従来のクールビズの達しも何もありません。

今年の夏も車掌業務において、外気温度が 35℃以上の熱波にもかかわらず、色は白色に近いものの生地が分厚い、着ているだけで暑い制服にネクタイしめて額から汗を滴らせながら車内改札したことは記憶に新しいことと思います。その光景に車内の旅客から同情されることもしばしばありました。しかし、会社はこの実情に対して全く知らんぷりで、きわめて保守的な実情にそぐわない服装を強いて改善しませんでした。結局乗務員個人でのぼやきと愚痴で済まされてしまいました。

これに対して会社ばかりか大多数の組合員をかかえるユニオンの幹部も同様に見て見ぬふりでした。もっぱらユニオン幹部は冷房のよく効いたオフィスの中で実情がわからないのでは・・・？

上着の着用なし、ノーネクタイ・・・でクールで爽やかな車内改札実現！？

さて今年こそは、節電という大儀と政府・環境省からのスーパークールビズ普及と啓発に基づき J R 東海も率先して環境大臣に対して「エコファースト 2011 年夏の節電の約束」宣言して、世間の動向とも比較しながら、是非とも乗務員の夏季制服と仕事の実態を考慮してほしいものです！